



探査機「はやぶさ」の模型や宇宙服のレプリカ=みよし市文化センター・サンアートで

宇宙会議に参加しよう

宇宙開発などについて、市民と意見交換する宇宙航空研究開発機構（JAXA）のタウンミーティングが十日午後一時から、みよし市三好町の市文化センター・サンアートで開かれる。当日は宇宙飛行士選考試験などの体験イベントもある。

（作山哲平）

講師は、県内出身で二〇一〇年に初めて小惑星「イトカワ」の粒子を地上に持ち帰った探査機「はやぶさ」のエンジン開発を手掛けた國中均教授ら。宇宙探査や人工衛星の開発などについて話した後、市民の意見を聞く。

会場では午前十時半と午後一時半から、子ども向けに、宇宙服のレプリカを身に着けての船内作業や、パズルなどを使った宇宙飛行

JAXA みよしで10日、意見交換や催し

士選考試験の体験プログラムも用意。「理科を好きになるきっかけに」と親子での来場を呼び掛けている。

ミーティングに先駆けて六日、ロビーなどに、JAXAが提供するロケットなどの模型の展示が始まった。国産ロケットH2Aをはじめ、国際宇宙ステーション、太陽光を受けて航行する宇宙ヨット「イカロス」、ロシアの宇宙服などのレプリカ七点が並び、九日午後六時すぎからは、土星観測会も催す。

タウンミーティングは西三河地区では初。高校生以上の参加者を募集していて、無料。事前の申し込みが必要
①サンアート＝0561(32)2000

練る山車―足助観光協会提

石井「ゾ相性レマロ」十輪

町 豊田
の 十

区画
基準